

平成25年 11月 29日

〔資料提供先〕 福山記者クラブ、尾道記者クラブ、三原記者クラブ、三次記者クラブ

尾道松江線周辺の小学生が現場のイチオシを見学します！

平成26年度全線開通（中国横断自動車道 尾道松江線）に向け、事業を推進している橋梁の工事現場を、広島県三次市の**小学生（約15名）が、工事現場を見学・体験**します。

「土木事業」及び「地域づくり」に関心をもってもらうことを目的に、普段はあまり目にすることの出来ない工事現場の見学及び体験（高所作業車への乗車等々）をしていただきます。

- 日時：平成25年12月 4日（水）13時30分頃～14時45分頃まで
- 参加者：広島県 三次市立（みよしりつ）安田（やすだ）小学校 生徒 約15名
- 場所：「尾道・松江自動車道 東谷川橋鋼上部 工事」の工事現場内

（住所：三次市甲奴町宇賀（みよしこぬちょうが）地内）

※ 取材の方は、事前にご連絡していただければ、ヘルメットを準備いたします。
なお、駐車場は現場内にあります。

工事現場状況



H25年10月末の状況

《 現場のイチオシ （ 参考資料参照 ） 》

開通前などの今しか見ることが出来ない土木の現場へ行ってみませんか！

～ **現場の迫力や魅力を皆様にお届けします！！** ～

【お問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 沢口 俊樹

【担 当】 建設専門官 鈴木 晃

TEL(084)923-2620(代表) FAX(084)923-2517

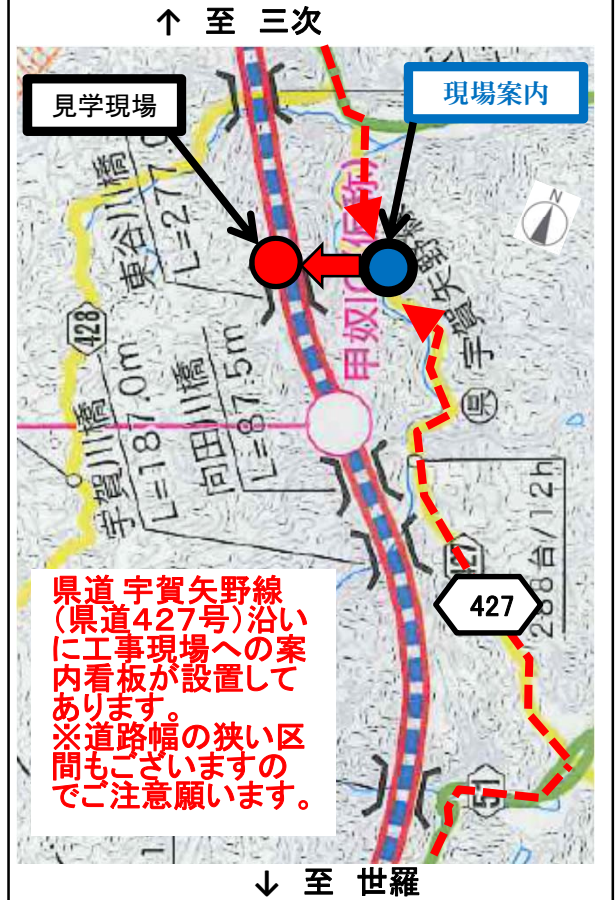
ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

平成26年度全線開通に向け、尾道松江線を整備促進中！

現場位置



拡大図（更に拡大は、次頁参照）



過去の事例



H23年7月31日見学会より

工事内容

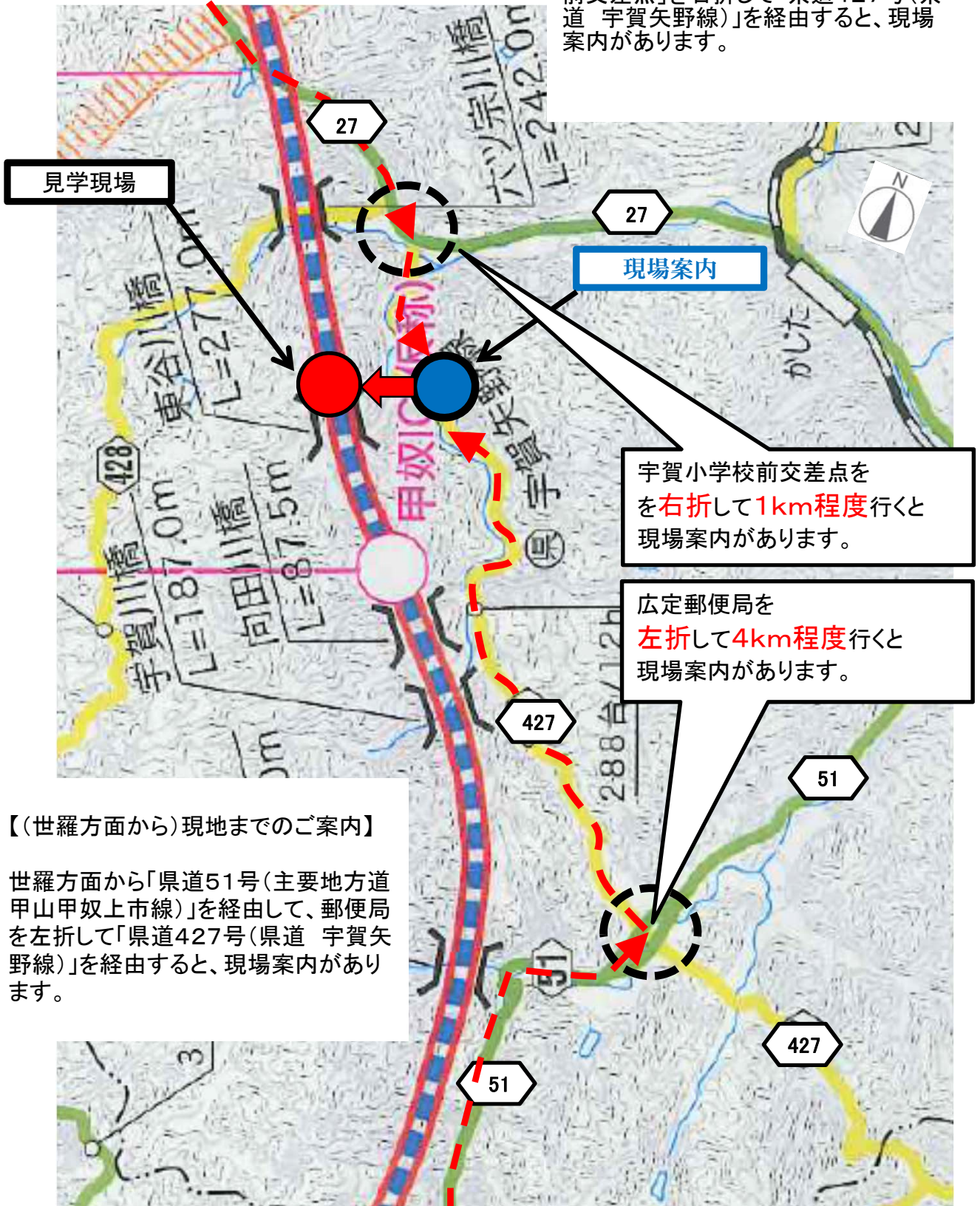
工事名 : 尾道・松江自動車道東谷川橋鋼上部工事
工期 : 平成24年9月7日～平成26年2月28日
施工会社 : 株式会社 横河ブリッジ
工事概要 : 上部工事
橋長 277m の上部工 の施工を行っています。

更に拡大図

【(三次方面から)現地までのご案内】

三次方面から「県道27号(主要地方道吉舎油木線)」を経由して「宇賀小学校前交差点」を右折して「県道427号(県道 宇賀矢野線)」を経由すると、現場案内があります。

↑ 至 三次



宇賀小学校前交差点を
を**右折**して**1km程度**行くと
現場案内があります。

広定郵便局を
左折して**4km程度**行くと
現場案内があります。

【(世羅方面から)現地までのご案内】

世羅方面から「県道51号(主要地方道甲山甲奴上市線)」を経由して、郵便局を左折して「県道427号(県道 宇賀矢野線)」を経由すると、現場案内があります。

↓ 至 世羅

中国横断自動車道尾道松江線

おのみちまつえ

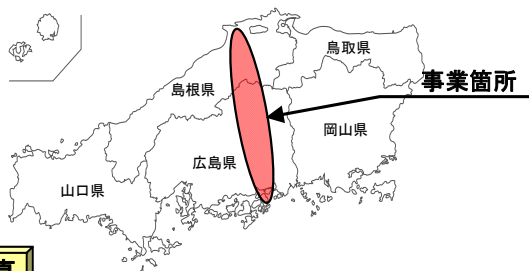
参考

部分完成

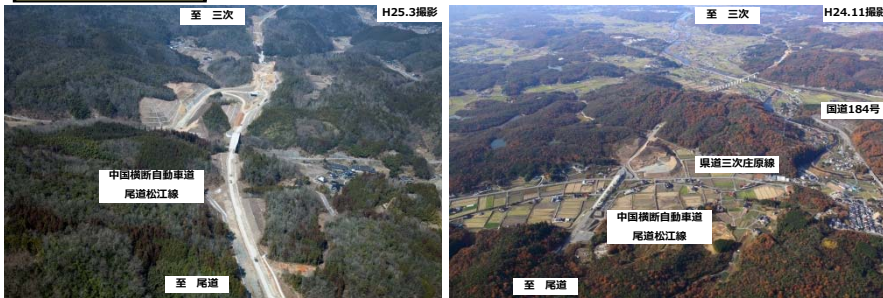
中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に三次市を経由し、松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、尾道JCT～三刀屋木次IC間(延長110.9km)は、直轄高速方式により整備しており、平成24年度までに延長80.2kmが供用しています。

平成25年度は、吉舎IC(仮称)～三次東JCT・IC間の平成25年度の部分供用(暫定)及び平成26年度の全線供用(暫定)に向け、改良、橋梁、舗装、トンネル設備工事を推進します。

位置図



進捗状況写真



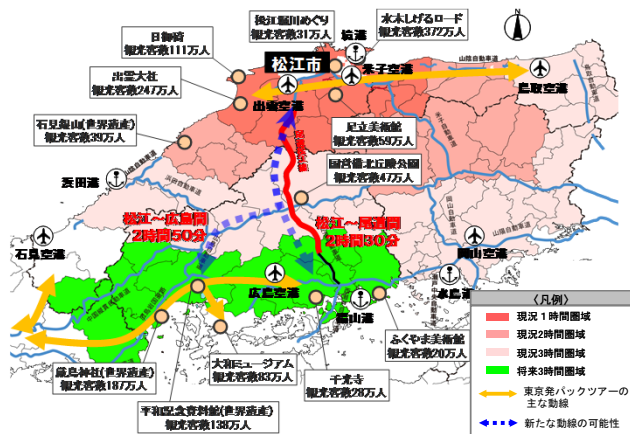
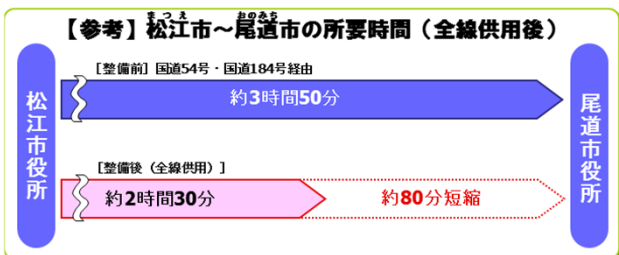
写真①甲奴IC(仮称)

写真②三良坂IC(仮称)

期待される整備効果

●主要都市間の所要時間短縮及び代替性の確保
尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。

●観光の支援(日帰り圏の拡大)
尾道松江線の整備により、松江市からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



※所要時間は、下記の条件により算出
整備前：H17道路交通センサスの混雑時旅行速度
現況・整備後：尾道松江線はV=70km/h、その他はH17道路交通センサス混雑時旅行速度

※時間圏は、左記と同様に算出
資料：広島県、鳥根県、境港市観光動態調査結果(H22)
東京発バックツアーの動線は、H18.10以降に東京から中国地方を催行する添乗員同行の20ツアー(大手4社)を対象として集計。

中国地方整備局の 『現場のイチオシ！』

開通前などの今しか見ることが出来ない
土木の現場へ行ってみませんか？

現場の迫力や魅力を皆様にお届けします！



河川・道路・ダムなどの公共施設の役割や重要性について、皆様方にご理解いただくために、中国地方整備局では工事現場などへの見学を受け入れています。

注意事項

- ・見学は無料です。
- ・見学は原則平日に行います（例外あり）。
- ・見学の1ヶ月前までに事前予約をお願いします。
- ・見学は10名程度の団体でお願いします。（例外あり）。
- ・見学は現地集合でお願いします。現場までの移動手段や費用は参加者でご用意下さい。
- ・現場見学当日は、動きやすい靴や服装でお越し下さい。ヘルメット等は貸与致します。
- ・担当する職員や工事のスケジュールなどの関係で、日時等のご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・工事現場等での安全には万全を期していますが、万が一の見学中のケガ等については責任を負いかねます。

HPアドレス <http://www.cgr.mlit.go.jp/info/genba/ichioshi.htm>